



2020.4.1

4月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園
神戸 YMCA ちとせ幼稚園

園庭の桜は4月早々に満開になりました。4月2日の嵐のような雨風にも全く散らず、淡いピンクの花はいつものように美しいのに、今年は静かに、寂しそうに佇んでいます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策は先の長い取り組みになりそうです。例年皆さんと楽しんでいるイベントの幾つかは開催を見送ることになりそうです。でも、時宜に合わせて可能な中で目一杯楽しんでやろうと思っています。

年主題の『満たされる』という言葉は、求めているのに空っぽだったり中身が足りなかったりしているのが、『いっぱい』あるいは『溢れる』ほどに、何かが注がれることを表していると思います。

空き具合や足りなさ加減は、人それぞれに違いがあるでしょうから、ある人は満たされ、別のある人は満たされないかもしれません。注がれたらもっと欲しくなってどこまでも満たされない人や、注がれた量の多い少ないに不平を感じて新たに満たされなくなる人もいるかもしれません。注がれるのに応じて空き加減が調節出来て何時も満足できる人もいるでしょうし、「注がれたこと」に感謝して満たされる人もいるのだと思います。

マタイによる福音書20章に「ぶどう園の労働者」という例え話があります。ぶどう園を持っている人が、夜明けに雇った人、午前中、お昼、午後、夕方に雇った人、みんなに、約束した「同じ賃金」を払ったら、夜明けに雇われた人が「一番長い時間働いたのに」と文句を言います。ぶどう園の持ち主は「友よ、私は、夕方に雇った人にも同じように支払ってやりたいのだ」と応えます。

この例え話のぶどう園は「天の国」と記されているので、持ち主は「神さま」ということになります。神さまと人の価値観は次元が違う、とか、世の中の勝ち組（夜明けに雇われた人）も負け組（夕方に雇われた人）も、神さまは同じように顧みてくださる、といった解釈が多いようです。

私はこのお話を、神さまは、こころの空き具合や足りなさ加減に応じて其々を満たしてくださる、と受け止めました。注がれた量は其々違って、一人ひとりが等しく満たされる。本当の平等は、其々に注がれた量が同じということではなく、其々が満たされることにある、と思うのです。

不穏な幕開けとなった新年度ですが、大切なことを見失わず、こどもたちと一緒に神さまの愛を感じ満たされる1年にしたいと思います。

年主題 『こころが満たされる』

<年主題聖句> 「喜びと平和であなたがたを満たす」

(ローマの信徒への手紙 15章13節)

4月主題 『神さまの愛に包まれて』

<聖句> 「あなたがたは神に愛されているこどもです」

(エフェソの信徒への手紙 5章1節)